

神戸大学都市安全研究センター 平成 25 年度オープンセンター
神戸大学都市安全研究センター発
“みんなで考えよう 安全・安心で快適なまちづくり”

開催速報

平成 25 年度の都市安全研究センターのオープンセンター 神戸大学都市安全研究センター発 “みんなで考えよう 安全・安心で快適なまちづくり” を、10 月 20 日（日）11:00～17:00 に神戸市役所との共催で神戸ハーバーランドにあるスペースシアターにて開催した。来訪者は約 291 名であった。

まず、都市安全研究センター長の飯塚敦先生から開催の挨拶がありオープンセンターの趣旨や都市安全研究センターについて説明がなされた。



開催挨拶中の飯塚先生

次に、ステージでは神戸市都市計画総局による「防災啓発ポスター」の表彰式が行われた。同局耐震化促進室計画担当係長岡本知佳子氏より「防災啓発ポスター」についての説明と今回受賞された三人の方の紹介および受賞作品の講評がなされた。引き続き、当日会場に来ていただいた二人に表彰状が授与された。



防災啓発ポスターの表彰式の様子

その後、ステージでは、まず神戸市都市計画総局耐震化促進室担当係長の岡本知佳子氏による“地震に自信ありますか？-すまいの耐震化-”と題するミニ講演会が行われた。阪神大震災時の神戸市の被害状況を最初に紹介いただき、近い将来に発生するといわれている東南海、南海地震の規模やその時に各家庭で予想される被害につい

て、三木の E-defense で行われた実物大試験の様子も交えながら説明をされた。



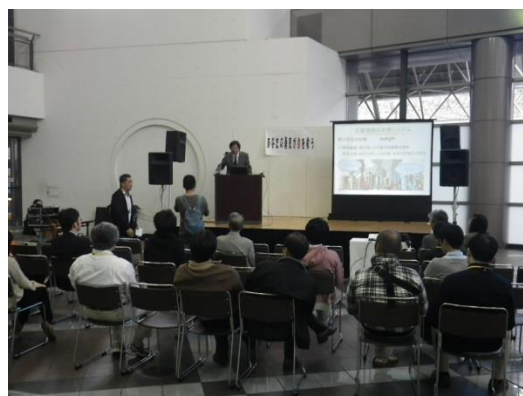
岡本氏によるミニ講演会

午後には、神戸市消防局のボランティアグループ「チーム TEC 安2」による“あなたの勇気が命を救う～AEDと心肺蘇生法を体験しよう～”と題したミニ講習会が行われた。みなさんの寸劇風実演は、観衆を納得させるものだった。会場からの参加もあり、心肺蘇生法がより身近なものとなったと感じた。



ミニ講習会の様子

次に、都市安全研究センター教授の有木康雄先生による“災害情報の収集・伝達システム”と題するミニ教室が開かれた。防災・減災への情報技術の寄与について、気づかされることが多数あり、参加者も熱心に講演に耳を傾けている様子が伺えた。

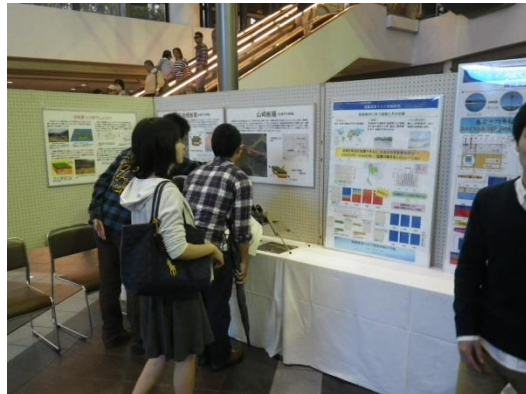


有木先生によるミニ教室

並行して、フロアーでは 12 ブースで様々な実演・体験コーナーが設けられ、神戸市・神戸市すまいの安心支援センターや消防局の皆さん、教員、学生によるデモや解説が行われた。



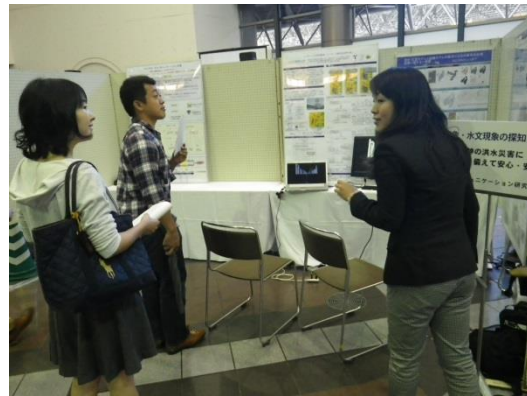
<あなたのすまいは地震が来ても大丈夫ですか>



<あなたの足下を支える土の不思議>



<次の災害に備えていますか？>



<京阪神の洪水災害に備えて安心・安全>